京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太

印刷人　松久神一郎

發行所　京城西署西小門通（電話六六三）　京城新報社

漢城より

北韓山生

▲夏の雨は心地好きもの、又鬱陶しきものに御座候、願はくば日に一度一村雨のザッと來よかし、昨日今日の土砂降りは却々に堪へ難き辛氣臭さを感候▲去りながら、翻つて思へば堪へ難き暑氣も、辛氣臭き鬱陶しさも稼穡の上には受けざるべからざる天の惠みにして、心ながらの贅は申すまじきにて候▲驟雨一過、快は即ち快なるも、晴れての後は一入の暑を覺ゆるぞ常なる、況して肌に快きのみなる寸時の感を何爲るものぞ、降らば降れ、照らば照れ吾等は暄時の賦なるを願ふのみに候、▲人事にも似たるが多し、今の我對韓關係の如き即ち是れ、譬へば山雨將に到らんとして風樓に滿づるもの乎、或は將に雨ならんとする蒸暑に比すべき乎、何は兎もあれ、吾等は炎暑も霖雨も強ちに厭ふものにあらざるは前述の如くに候、但驟雨一過の快を貪らんとするの心事と無之候、今更恐にもつかぬ事をと云ふ勿れ、糠喜びといふもの、得てして恁んな工合から成行くもの也▲南大門、停車場間の道路取擴げの必要は、吾等屢々之れを唱へ當局者も之れを認めて、去る頃は急に起工せらるべきやに傳へられしにも拘はらず、今日に至るも沙汰も聞ねずなりぬ、何かの事情有りてのことなるべく、理由も理屈も候べし、然れども如何なる事情も如何なる理由も切迫せる必要を拒み能ふものにあらず、何事の在しますかは知らねども、當局の緩怠は叱責に値すべく候、

▲前日、吾等は京城龍山の電話加入區域を合同すべきを當局に懇望せしが、愈兩民團の合併されたる今日に至りては、兩地居留民の關係は、急に太だ密邇したるを以て、從來のまゝにては不便實に尠少ならざるものあり、京城民長は此事を以て理事官に具申し、管理局に對する交渉を請ふ筈なりとか、管理局に於ては官廳の事にもあり、經費の都合も在るならんも、吾等は急に合同を決行されんことを希望して巳まざるものに候

慶北農作狀況（一）

慶尙北道本年農作の狀況を聞くに▲金山、知禮　兩郡の麥作は合せて平年一万三千石の收穫なるも本年は旱害の結果三割減收の約九千石にして昨年と比較せば增收とは認めざるも甚しき減收なし▲稻苗植付　は其時期に降雨あり灌水比較的潤澤なりし爲め高地以外八分終り稻苗は既に移植水田に昵み發育を始めたり▲淸道郡　の麥作は平年收穫高二萬三千三十石にして前年は二萬七千三十石を收穫せるも本年は平年作の豫想▲秧苗植付　は目下六七分を終り一般降雨を望み居れり▲善山郡　の麥作收穫豫想は二萬七千石の前年と大差なし▲合舞郡　も亦平年作の一萬三千石、兩郡の植付は八分方濟み目下多忙中なり▲尙州郡　は麥作收穫見込一万六千九百六十二石▲咸昌郡　は二萬千六百石兩地共平年作にして稻苗植付は目下五分方片附き十五日迄には終了す尙本年の天候順境なれば豐作の豫想▲密陽郡　天候不順の爲め田畑麥作共不良昨年の收穫高八万八千二十石に對し本年は七萬五千六百三十二石の一割五分を減じ坪刈の結果上二石六斗九升中二石四斗下一石八升全郡の平均は一石四斗五升なり▲稻苗の植付は苗代期に晴天多く稻苗强健にして植付も前年より十日間早く既に終り近年稀なる農作豫想▲興海郡　麥作は不順の爲め結實期に入りて時々小雨の結果平年より不良にして昨年は平年作なりしも本年は前年よりも三割減▲稻苗植付は旱天續きの爲め一般農民の降雨を期待せしに三日前に二回の少雨を見漸く着手せるも其後又々旱天にて何れも困難を感じ居りしが去る一日の大雨にて始めて愁眉を開き今や多忙中なり（續）

江陵郡の最近狀況

▲農作物の狀況　大麥は江原道江陵郡内は大部刈取を終り其收穫の狀況は地方により多少の相違あるも平年の二分一の收穫に過ぎず平昌、旌善、寧越地方は未だ全部の刈取をなさゞるも平年の二分の一若くは三割の減收ならんと豫想せり水田は本期に於ては凡て挿秧を終る時機なるに山間の地若くは水利の便ある土地は全部挿秧を終りしも江陵郡内の如き約半部は灌漑十分ならずして挿秧不可能なり又適挿秧をなせし部分も旱魃の爲め水田龜裂したる所尠からず今秋の收穫實に覺束なく米價は漸次騰貴し目下米一升十六錢となれり▲海產物狀態　鮑、海鼠漁獲の目的を以て注文津、墨湖に入り込みたる漁業者漸次增加し目下日本人二百八十名韓人百十一名合計三百九十一名にて依然潛水器を使用し繼續中なるが本期に於ける漁獲高海鼠約二万六千百二十斤にして價格一萬六千百九十五圓に達せり尙ほ本期に於て注文津、墨湖沿岸に鰯の漁獲あり就中墨湖沿岸に於ける鰯の漁は近年稀なる豐漁なりと漁民は云り▲輸出入の概況　注文津輸出品の重なるは大豆、小豆、鹽、葉煙草、草履、白米、海鼠、干鰯、牛皮、甘藷、明太魚、鹽魚にして就中主なるものは海鼠及干鰯なり然して輸出總價格は約五千四百七十圓なり輸入品は味噌、醬油、白米、清酒、清國金巾、煙草、麥酒、鑛物、砂糖、サイダー、石油、麥粉、其他雜品價格四千五百五十圓なるが重なるものは石油、白米及金巾なり尙ほ墨湖は大豆の輸出百十石其の價格約七百二十圓あるのみなり

講談　越後傳吉

大岡政談　第十八回　旭堂南陵講

どころが傳吉はそんな事が嫌ひだから流連の客があると遠慮なしに直に遣つて行き　傳「ヒヤー御免下せゑまし」れ客「ア、傳さんか　傳「ヒヤーれ前樣、私イ一寸見ると今日で三日遊んでゞござりますの　客「ア、もう何うせ遊び續けだ、もう二日も遊ばうと思つてるの　傳「ソレれ前樣惡い、了見違へでねへか、れ前樣マアこんなことをいふさ失禮ぢやけれども、この廓へ來て流連をして遊びなさるといふのは此上もない詰らねへことだ　れ前樣考へて御覽なさい流連といふのは、そのれ客樣の良いところも見わりやア惡いところも見ゐる、また敵娼になつてる花魁の缺點も能く見ゐるものでがす畢竟これは夕方に來て朝れ歸りになれば汚ないところも綺麗に隱して送り出すから面白うなるでがす、二日も三日も遊んでござりやア面白くねへだ、第一さう金を湯水のやうに使ふてはた金の冥加に盡きますぞね、親御さんがあらつしやるだらうから親御さんがエヲ心配をなさるぢやらう、惡いことはいはねへで今日のところはれ歸りなせゑよ、さうしてまた跡三日遊ばうといふところをば、五日でも六日でも經つてから改めて遊びに來て下せゑよ、其方がれ前樣快樂が長へで、そんなに流連しちやアなんねへからお歸り下せゑ」イヤれ客は驚いた女郎屋で流連をして中どんに異見をして貰つた、成ほど斯ういはれて見ますと奴さん考へる　客「ム、イヤ成程、傳どん大きにれ前のいふ通りだ、よし、ぢやア歸ることにしやう　傳「ア、さうぞれ歸りを誂へましてドン〳〵歸る、家では親御が　親「番頭どん、忰は何所へ行きましたか　番「ヘイ　親「ヘイぢやアないがな其方は隱して下さるから困るよ、丁度今日が三日目ぢや、忰は何所へ行きました、さう〳〵堅氣な商人の忰が吉原へばかり遊びに行つて、三日も四日も家を空けるやうでは、到底この身代を渡せません、今日戻つて來ませんなら、今夜は親類の衆を集めて彼れを勘當して了ひます　番「どうぞ旦那樣さう仰しやらぬやうに　旦「イヤ〳〵勘當でございます、飛んでもない奴だ」れ父さんカッカとなつて怒つてる、ところへ傳吉に意見をされた息子さんが近所で駕籠を降て戻つて來た　番「れ歸り　若「今戻つた　番「今戻つたではございません、危いところでございましたぜ若旦那　若「何が……　番「何がといつて旦那が大變に怒つてもう今日一日れ歸りにならんなら、今晩は御親類が寄て御相談の上貴方は勘當になるとこです　若「オ、危ないさうか此點が傳吉の異見だな、成ほど彼奴はエライ奴だ、よく異見をしてくれた、彼れが異見をしてくれなかつたら親父に勘當されたのだ危い〳〵　旦「番頭どん、忰は何うしました　番「エ、若旦那さま只今れ歸りでございます　旦「一寸呼んで下さい　若「ヘイ〳〵れ父つアん只今ヘイ　旦「これ只今ではない　若「ヘイ　旦「何をして居なすつた　若「誠に相濟みません　旦「若い者ぢや、偶に一度ぐらゐは遊びに行くのは構はぬが、何ぢや二日も一日も遊び續けて　若「ヘイれ父つアん誠に相濟まねことでございます、私ももうこれからこんなに遊び續けませんスッカリと異見をされて戻つて來ました　旦「誰が異見をしました　若「吉原の三浦屋で異見をされました。旦「女郎屋で異見をするとは……どんな者が異見をした　若「イヤどうも不思議な中どんがございます　旦「ム、若「エ、傳吉と申します田舍者で正直一途の人で今朝私がもう後二日ほど遊ばうと思つてるところへやつて來て、如斯如斯いふ譯で……」と一伍一什を話しましたから、父親も感心して　旦「アーム、それは豪いもんぢやアな、實に感心な男ぢや、さうかい、さういふ人の居るところなれば、忰外へは決して遊びに行きなさんな、若し朋友に誘はれて他へ行やうだつたら三浦屋で遊びなさい、感心な人が居る、私も行つて見やう親父まで誘はれさうな始末になりました



東京電報

▲新公債乘換額 新四歩利公債乘換額は五千五百萬餘圓に達し軍事公債現金償還額は二千五百九十二萬圓なりと（九日）

▲寺内統監參内 寺内統監は來る十二日御暇乞のため參内謁見仰付らるゝ筈なり（同上）

▲統監以下旅程 寺内統監有吉總務長官兒玉書記官及び家族隨員は下之關より軍艦八雲に搭乘仁川に直航の豫定なり（同上）

▲統監展墓歸鄕 寺内統監は愈々十五日午後三時三十分新橋發渡韓の途に就き途次其郷里に立寄りて展墓を爲し馬關より軍艦八雲に搭じて仁川へ直航に決せり（同上）

▲米國移民現狀 米國政府は移民狀態調査の結果日本人が太平洋沿岸各地にて土着的移民となり大計劃の下に耕作事業を營み米國本土の白人耕主を壓倒する迄の發展を爲せるを發見し今後の移民政策確立上大に得る所ありたりと（同上）

▲大浦農相歡待 英國上下兩議院有志は大浦農相の爲めに盛大なる歡迎會を開く筈（同上）

▲日本館の火災 南京博覧會日本館火災に罹り裝飾品全部燒失修繕に三週間を要す（同上）

▲鐵道改修着手 鐵道院に於ける本年度の鐵道改良費總額は一千九百萬圓にして本院及東西中部北海道九州に分割近々工事に着手するに決せり（同上）

▲臺灣高官の更迭 大島臺灣民政長官は辭職し同時に總督府高官に大更迭あらんと傳ふ（同上）

▲師範校規則改正 文部省は現行師範學校規則を改正する事に決し近く發表さるべし（同上）

▲官吏の暑中休暇 内閣告示を以て來月十一日より來る九月十日までの間に諸官員に暑中休暇を賜はる旨仰せ出されたり（同上）

論說

漢城政界の沈靜

曾禰子を送り寺内子を迎へたる漢城政界は久しく沈睡せる惰氣を振肅し隨つて之に伴ふ何等かの政變あるべきを期待するは單り日本人のみに非ずして外國人の如きは一層過敏の神經を以て此趨勢を觀望しつゝありと云へり而して政變毎に厄鬼の如く狂ひ廻はるは韓國政客の常なれば必ず多少の動搖を免れざるべしと思惟せしに統監更迭に際しても決して其事なく次いで又警察事務委託の事ありしも遂に是を見ず今又山縣副統監着任を見るに到りしも一般に沈靜を極め殆んど不可思議の現象に在り則ち此の如きは漢城政界の歷史に徵し眞に稀有の事に屬するを以て在京城外國領事等は孰れも此現象を特筆大書して各其本國政府に報告しつゝありと云ふ而して更に此稀有の現象を示めせるは新統監の權威之を然らしめたる所以なるは勿論なるも一方列國の意向も亦時局進展の餘儀なき趨勢なるに同意せる爲めに外ならずとし異口同音に大勢の自然なるを唱へ居る由なり（電通）

副統監と各大臣

韓國各部大臣は山縣副統監着任以來未だ正式の訪問を爲さゞるを以て李内閣總理大臣以下朴内部李學部趙農商工部高度支部の各部大臣は九日午後一時打揃ふて山縣副統監を統監府に訪問敬意を表したり

祝賀會と歡迎會

京城民團發起となり寺内統監の着任を待つて京龍民團合併の祝賀會を兼ねて正副統監の大歡迎會を催すべく目下準備中なり

●韓國裁判所の限度 統監府裁判所の將來計畫は區裁判所百三箇處を設置すべき筈にて既に本年度豫算にも其計畫にて議會の協贊を經たるが今日までに既に八十箇處を完設したり然るに今後豫定計畫の進捗如何に就き當局者の語る處によれば過去の實驗により百三箇處の數は要せざるべく則ち韓國の現狀より見れば高等法院一控訴院三地方法院八同支部九の現在と區裁判所は尚十箇處を增設し九十箇處位を以て適當の限度とすべく見込也と

●休職者と恩賞調査 内部所管の各警察部長以下警視警部の休職に對しては大に同情を寄すべき事情あるを以て普通一般の例に依らず特別の恩賞を給與すべき筈なるが就中警察部長の如きは廢官の結果に基く失職にして他の老朽無能の爲め休職を命ぜられたるものとは大に其撰を異にする筈にて目下警務總監部に於て最も秘密に論功を凝らしつゝあり而して決定の上は之を韓政府に移牒して行賞の手續を爲さしむべし

●内部の法令審査會 新任宇佐美次官を迎へたる内部は從來久しく停滯せる一般行政事務に就き極力進捗を期圖しつゝあるが九日は午前十時より懸案中の水利組合法及面長職制に就き審査會を開き宇佐美次官以下各局長關係課參列して審議を凝らせり

●江原道觀察廳移轉 江原道觀察使廳は現に春川に設けあるが該地は同道行政の首府としては不便尠からざる爲め鐵原に移轉せんとの議起り内部にては目下其利害に就き調査中なり而して近々決定の上は閣議を經て更に警務總監部の同意を求め來べし

●水原觀察道移轉期 京畿道には水原觀察道の外に漢城府ありて行政統一上不便尠なからざるを以て内部にては右二者を合併して觀察道を京城に移すべく目下準備中の由なるが移轉期は多分年度末なる可しとの事也

●水原憲兵隊の開設 水原憲兵隊は十日より開設し十一日より事務の開始を爲す筈なりと云ふ

各地の水害彙報

七月一日夕以來の降雨にて星州郡星州邑の東北方約半里の河川は渡渉困難となり同二日星州倭館間の郵便物は遞送停止其他多少田地に侵水ありたるも人畜家屋には被害なし

七月二日の降雨は漢江河川に七八尺增水に會し交通船の操縱を誤りたる爲め麻浦架橋に衝突し數所の損所を生じたるが復舊には約一週日を要すべく其間五隻の渡船により往來者渡河に供し居れり

七月五日以來の降雨にて汶山積城間の河川增水爲に兩區間は交通杜絶せりと

洪水と汽車不通

▲京釜支線 昌原進永間に於て數日來の洪雨により河川出水し鐵橋を破壞し九日朝より汽車不通となれり

▲京釜本線 慶尚北道倭館驛南方にある鐵橋浸水し九日朝遂に汽車不通となりたるも同日午後四時頃までは復舊見込みなりき

●韓人學生早大卒業 在早稻田大學韓人學生にして本期卒業せし者の氏名左の如し

專門部政治經濟科 李承瑾 李得李 李允傑 黃錫翹 李嘉吉 姜麟祐 李鳳九 邊熙駿 同法律科 尹袞鉉 洪昌植

●朝鮮日の出紙廢刊 龍山に於て發刊しつゝありし朝鮮日の出新聞は或る事情の爲めに今十日限り廢刊することに決したりと

●古城民長の招宴 舊龍山民團の引繼は殆んど滯りなく結了したるを以て古城民長は今十日夜三浦理事官及び京龍議員三十餘名を花月樓に招宴する由

●東朝記者の來京 東京朝日新聞記者荒木貞雄氏は政況視察の爲め八日入京不知火旅館に投宿約一箇月滯在の由

▲少佐櫻井藏三郎、寺本宮吉、笠貞治郎の三氏外尉官十八名同山本旅館へ投宿

濟州へ歸る

貸金業者の近況

韓國銀行が最近發表したる貸金業者の一般概況を聞くに市況は閑散の時期と雖も工事其他の關係より此方面に於ける貸金の移動を告ぐるの地なきにあらず左に各地の狀況を摘記す可し

△京城 商況不振の狀況なれば可成的不動産等固定すべき貸出を差控ふる結果從來貸出せし資金以上に新規の需要を見ざるが如く一般に閑散の模様なり

△鎭南浦 諸工事着々進捗し爲めに貸金等の實行良好なるが故に市中貸金者は依然として相應の繁忙なる觀あり

△木浦 貸金業者間の金融は順調なれども大口の需要は皆無の姿なり

△馬山 工事請負業者の需要あり相應繁忙の模様なり

△釜山 銀行側の金融緩漫に反し個人間は相應の放資をなし居るものゝ如し

△大邱 個人間の貸金は民間建築盛なる爲め相應の貸出ある模様なり

△元山 市況恢復と云ふも單に貿易商間の事に外ならず此方面に屬する小商人には未だ實際に於て何等の變動を與へず依然固定的貸出尠からざるが如し

△咸興 韓人側は納稅の關係上金融聊か繁忙を告げ二厘方利子昂騰せり

△城津 日本人側は金融閑散なるも韓人側は頗る逼迫せるものゝ如し

△安東縣 五月初にありては幾分小康を保ちたりしが工事は意外に進捗し物資の需要並に勞働賃金支拂等の爲め資金の需要起り他方滿鐵の支拂は比較的少額なりしを以て漸々逼迫を告ぐるに至れり同月末に至りては其度を高めたる感あり金利は同下半月以後多少騰貴の模様なり

經濟小言

▲在京城各銀行及各會社の本年上半期に於ける營業成績は何れも比較的良好なりしと稱せらる、之れ何の爲か、由來半島は農業地なり、農業地にして輸出農産物に好價を得んか一般經濟界の潤ほふ勿論なり。

▲本年上半期に於て大連方面に輸出されたる白米は其石高尠なからず、滿洲大豆歐洲行の影響を受けて韓大豆の内地へ輸出されたる石高亦尠なからず、白米、大豆其輸出に因つて正貨流出の著しき部分を防ぎたるは例年に見ざるの事實なり、されどされど此事實が我京城に於ける各銀行各會社の營業に幾許の好影響を與へしやは素より研究に値す。

▲率直に云へば我京城の各銀行、會社は其半期の決算に於て利益は利益と計上するも損失は損失と計上せざるものなり、故に單に並べられたる數字より判斷せば素より利益は損失を超過す、而れども人あつて其有せる財産を嚴正に評價し、亦其有せる手形を交換所に持出さば其結果は如何、利益と純益とは自ら別あり、何んすれぞ余輩の喋々を俟たん、而れども我銀行、會社の經營者には兎角利益と純益とを混同するの弊あり、特に京城各銀行、會社の經營者を以て然りとす。

▲銀行會社經營の要は經濟界の貢献に存す、同時に詐らざるの配當を株主に與ふるに存す、叨りに立派なる決算報告を作りて自己と世間とを欺くが如きは經濟界を蠹毒するものなり

▲さは云へ我京城經濟界近頃の進歩發達は數年前に比して著しき者あり、我等は此著しき進歩發達を各銀行會社と其經營者とに負ふ、今や新統監來つて世は革まらんとす、下半期の好況ならんことを祈る。

六月中の金融狀態

六月中に於ける京城日本人側三銀行（即ち第一銀行第十八銀行第百三十銀行）の金融表を示せば左の如し

▲出納の部

▲受入高	
第一銀行	一〇、三六三、九三六、〇〇〇
第十八銀行	二、八六七、六七四、〇〇〇
第百卅銀行	三、一九二、五三三、〇〇〇
▲拂出高	
第一銀行	一〇、三五一、四九六、〇〇〇
第十八銀行	二、八六三、〇〇一、〇〇〇
第百卅銀行	三三、一三〇、〇〇〇
▲預金の部	
第一銀行	三、四三七、五九八、〇〇〇
第十八銀行	四三六、九五五、〇〇〇
第百卅銀行	九四六、三六一、〇〇〇
▲貸金の部	
第一銀行	九九二、八七二、〇〇〇
第十八銀行	五六一、六九二、〇〇〇
第百卅銀行	一、〇二〇、九四二、〇〇〇
▲爲替の部	
▲受入	
第一銀行	三、五七〇、八一七、〇〇〇
第十八銀行	二三八、三一四、〇〇〇
第百卅銀行	一八六、七三三、〇〇〇
▲拂出	
第一銀行	一、五六七、四三五、〇〇〇
第十八銀行	一〇四、二二二、〇〇〇
第百卅銀行	一一〇、一四〇、〇〇〇

各銀行總會と配當

本年上半期に於ける各銀行の配當率は近日開かるべき總會に於て決定の筈にて手形組合にては九日共同倉庫會社と漢城銀行は來る二十日各農工銀行は二十四日を以て夫々定期總會開催の筈なるが天一及び韓一は未だ期日を定めず而して其配當は何れも前年に異ならず各農工銀行は一割二分に内定し元山と咸鏡の二農銀だけは前年同樣一割なし次に天一銀行は先年韓國人が經營し居たる時の創痍に依りて整理勘定なるもの十三萬圓あるも近年は殆んど其整理を完了さる迄の順境に在りて利益は凡ての銀行に比較し最も多き方にて整理勘定已に十萬圓を補償するに至れり漢城銀行は利益の配當率に付目下韓頭取しきりに頭をなやましつゝあるも暫く其公表は見合すべし

●北韓淸津の電氣業 北韓淸津方面交通及び運輸機關完設の急は一般既に認むる處なるが是に對し同地方に緣故淺からざる淺岡重喜氏主動の下に阪神間屈指の實業家右近權右衛門、杉村正太郎、末吉勘四郎、金澤仁兵衛、近藤喜祿、岡田松之助、淸津築四郎の九氏發起となり五十萬の資金により北韓興業株式會社を組織し羅南及び淸津間十一哩間に電氣鐵道を布設し客貨の運輸に便し併せて兩地間電燈經營に當るべく既に陸軍より右敷地使用は認可され今や營業上に亘る細明に就き統監府に申請中なるが同經營は北韓鐵道の豫備機關にして同完成の曉には自然會淸間鐵道の氣運を促進すべきは殆ど疑を容れざるべしと

●後願取引所の却下 取引所設立の既願者あるを知悉せるに拘はらず突如又同一の取引所設立を出願せるものありて世人の嚬蹙を受けつゝありしが果然當局者も其不都合を認め且つ先願者に對しては商業會議所の諮問迄經て統監府へ申達し許否尚は未定なる場合之を受理し難しとし八日發起人の一人たる深水清氏を呼び付け願書を却下したり其際同氏は是非詮議あり度き旨強請し該却下を肯んざりしかば當局官憲は然らば郵便に托送すべしと嚴達せるに遂に已むなく承服し悄々として引取り去れりと尙該出願の黒幕は代議士安達謙藏氏なりといふ

●煙草耕作改良指導 度支部臨時財源調査局にありては曩に京畿、慶南、平南、黃海道中主要煙草産地十八郡に亘り技術員を派遣し煙草耕作改良指導を試み所在有司は固より他模範たるべき耕作者に對し諄々說諭する處ありしが各地各其趣を異にすると殖産の改良は其性質として急速なる成効は望み難けれども幸に技術員は到る處歡迎され且各郡守はよく其意を體し夫々訓令を發して誘掖に怠らず就中忠北淸安郡守の如きは極めて懇切なる訓令を發し管下耕作者をして熱心改良に努力せしむる樣勸勵に力めつゝあり

●京城居留民會開催 龍山編入後の京城民會は十一日午後一時より民團樓上に於て開催し豫算追加の件助役推薦の件規則改正の件其他合併後必要なる議案を提出議決を求む筈

●會議所の事務引繼 京城日本人商業會議所にては三十日同議員選擧三日役員選擧の結果九日午前九時より會議所樓上に於て新舊會頭委員立會の上事務の引繼を了せり

●朝鮮産業誌の出版 京城商業會議所山口精氏の編著に係る朝鮮産業誌上卷は今般愈々印刷出來賣出したるが紙數千餘頁に亘る大輸にして第一編農業、第二編山林、第三編鑛業の三編に頒ち農業編は殊に精細を極めたり卷首には曾禰前統監の題字に石塚木内兩參與官の序文あり材料頗る豐富なれば韓國を研究せんと欲する者の爲めには近來の好著なるを失はず尙ほ土性及地質圖林業並に鑛山分布圖其他寫眞銅版を摺り統計表等數十葉を挿入し何れも專門家の校閱を經たるものなれば錦上更に花を添ゆるの感あり

平壤通信（八日發）

▲大相撲と市況 去四日來壤五日初日を興行し六日は雨天休場七日二日目を行ひたる東京大相撲は今朝安東縣に向ひたるが二日共大入客止め空前の盛況にて爲めに市中の商況にも尠からず好影響を與へ一般に市況持直したる觀有り

▲汲水夫の其後 過日電報を以て詳報せし當地汲水夫の給水反對暴擧は數回容易ならざる暴動を敢てせんとし尙ほ益々不穩の狀態あるを以て給水販賣人等は遂に其給水を中止し内部に於て之が善後策を講じたるが其後汲水夫等も暴擧の無益にして却つて自己等に不利益なるを悟りしものと見え正當なる手續をふみて其筋に賠償を要求せんとし寄々協議中なるが場合によりては法廷に訴へて權利保護の目的を達すべしと意氣まき居れり

▲稅關引込線 目下大同江岸に新築中なる鎭南浦稅關平壤出張所と停車場との位置甚だ遠隔せるを以て貨物運搬の不便と運賃不廉の不利益に鑑み當地民團と稅關及び鐵道側とは先頃來頻りに鐵道の稅關引込線布設の協議を爲しつゝあるが現在停車場より市内に貨物を運搬しつゝあるは馬車及び牛車等にて是等牛馬車は一臺につき約一噸の十分の七の重量を積載するに過ぎずして其運賃は停車場より稅關迄一臺につき四十錢を要する事なるが引込線完成の場合には一噸僅かに五十錢を要するに過ぎずされば引込線布設は平壤の發展上緊要の事に屬するを以て同布設費一萬圓中一万五千圓を鐵道にて負擔し五千圓を民團より寄附し以て引込線を完成せしめんと協議略ぼ纏まりたりと

龍山通信（九日支局報）

▲京龍兩民團合併の結果豫算更正の必要あり京城民團にては目下之れが調製中來る十一日民會を召集して附議する運びに至るべし

▲吾等は數次龍山に火葬場急設の必要を唱へしが聞く處に依れば京城民團にては合併以前青葉町裏に當る麻浦街道に火葬場を設置するの計畫あり爾に民團囑托省川技師を內地に派して築造方法に就て取調べを爲さしめ同技師は兩三日前歸任して直ちに設計に着手し出來上り次第起工する豫定なるが或は現在の撰定地を變更して京龍の中間地點に移し以て龍山在留者の用に充つることゝならんかといふ

▲京城芳野町裏手（中の新地の上）に在る洞といふに世に知られざる墓地あり去る四十年四月十五日劃定され城内二三千坪を有し現に監視人を附しありといふ京龍の合併に依て龍山の居留者は自今一等十圓、二等七圓、三等五圓等外三圓の使用料を支拂ひ埋葬を爲すことを得

▲來年の事を云へば鬼が笑ふとか聞けど笑はれても腹も立たざれば聞くがまゝを通信せんに京城民團にては來年度に於て龍山練兵場脇より漢陽公園に通ずる道路を開通するの計畫ありと

▲京城手形交換高▼

七月	金高	枚數
九日	一一三、一九三、七六	三二四

▲治外法權▼

寺内統監は十三日を以て東京を發すとの事だから遲くとも十八日には當地へ乘込むダロウ、何がサテ入道は峻嚴犯すべからざる几帳面の人だ、ソンヂョソコラの役人達は今迄の樣なルーズな考を持て居てはならぬ、彼が着かぬ前に襟を正したがよかろう▲敢て役人達のアラを云ふのヂヤないが、現下韓政府側に勤めて居る邦人高等官中には不心得者が澤山ある、其一例を擧ぐれば彼等の或者等は出勤及び退廳時間を守らぬ、極端な奴になると十二時頃に出勤して二時頃に退ける▲彼等にナゼ執務時間を守らぬかと問へば高等官には一定の執務時間は無いと答へる、ソウして未だ曾て出勤名簿に捺印した事はないなどゝ自慢ソウに答へる▲一事が萬事で只に執務時間に就いてゞ許りヂヤない、一体に官吏の心得がルーズになつて居るとは爭はれぬ事實だ、寺内も山縣も宜敷廓正の途を講ずべしだ▲記者の知る範圍では京城位の大きさの都で京城程歡送別會の多い處は世界のドコにも無い、官吏が來る、官吏が歸る其度毎に歡送別だ、五圓の會費を持て出て來との回章は隅から隅まで飛んで來る▲其回章に曰く萬障御繰合せ御出席を乞ふと、出れば時間と金とが無意味に消える、出なければ何だかケチの樣に見られる、玆に到つて回章をツキ附けられた人の迷惑は察すべしだ▲歡送別會も人と場合に因つてはするのが當然だ、併し京城の樣に無意義に多くては困まる戊申の詔勅は何の爲に出たか、敢て寺内山縣の一考を煩す。

●民團助役當分一人

京城民團助役は二名を定員とし其一名は行政方面を一名は内部の事務を擔任せしむる筈なるが時局の趨勢は豫定計畫の剛債募集も中止せざるべからず隨つて積極計畫も頓挫し難きより當分助役は一名を推薦し置き更に時機を待つ

公人私人

▲憲兵少佐、顥澤義夫、吉弘猴、前田昇、隈部親信 四氏は八日八時入京天眞樓
▲少佐櫻井藏三郎、寺本宮吉、笠貞治郎の三氏外尉官十八名同山本旅館へ投宿
▲ウヰトレ(米國宣教師)同氏は八日安州へ歸る
▲坂東榮次郎(前警視)八日濟律へ出發
▲向田幸殿(前警視)八日水原へ出發
▲北原彥次郎(濟州農工銀行頭取)八日

運の勢

七月十日 舊六月三日 九紫友引 △一白貸借克(注意すべし新事旅行見合すべし△二黑開拓日なり仕官就職依囑請願に適す△三碧勢に乘じ疾病衛生に注意の事△四綠交誤りあり經へ目に吉△五黃會心の日大抵吉但し病難を避くべし△六白窮厄なり新事見合せの事建築土木の事に吉△七赤繁忙なり金品授受取引賣買貸借故障起らん新事旅行を慎むべし△八白諸願及虛飾を防ぐべし他は快欣の日なり△九紫無心要求の事の煩を避くべし還失の恐れあり

七月十一日 舊六月四日 八白先負丁丑破 △一白諸事手控への事尚保證引受世話を慎み就職依賴談に吉△二黑林業には吉△五黃靖事の日業務の失体を醸す勿れ婚約團体組合事に宜を得る日なり旅行見合せの事當便り事注意(本町五丁目二一館判)

南極探隊の壯圖



△資金四萬圓の募集
△探險後援會の設立

南極探險の大壯圖を企畫中なりし陸軍中尉白瀨矗氏は彌々去る五日東京神田錦輝館に於て其壯擧を天下に發表したるが大隈伯、三宅雄次郎、大石正己、肝付兼行、佐々木安五郎、櫻井熊太郎、棚橋一郎、田中弘之氏等の贊成演說あり聽衆堂の內外に充溢し各辯士の熱誠なる同情と聽衆の感情が高潮に達したる時短驅頑健なる白瀨中尉は演壇に立ち深刻なる同情に對し感謝の熱涙を灑ぎしつゝ十八年の昔より南極探險の志望を有したることより故兒玉大將が大佐時代に其の志を語りしに先づ身體の鍛錬を積めよと訓しへられたるより郡司大尉と共に千島列島に氷雪と戰ひ寒氣に堪ふる練習をなし以て今日に及びたりと述べ白瀨不肖なりと雖も日本人なり過去の經驗と現在の体力とは必ず世界の大冒險隊と競争して劣るなきを信ず殊に今や探險船の準備成り船長初め屈强なる隊員も蹶起して出發の日を待ちつゝあり只殘るは之に要する四万圓の資金のみ此**資金**さへ**調**はゞ**成功**を諸君の前に**誓言**すと聲涙並び下り終って當日の司會者は南極探險後援會を起すべく告げ午後五時閉會したるが即日同會を組織し大隈伯を會長に澁澤男を副會長に佐々木、櫻井の兩代議士田中弘之、押川方義、村上俊藏の五氏を幹事とし本郷區片町一の十一成功雜誌社內に假事務所を設け六日より金品の募集に着手せりと云ふ惟ふに我日本人は此の白瀨氏の大壯圖を決行するに遺憾なき程度に捐財に吝ならざるべきを信ず因に同探險隊に**加入**すべく六日迄に**確定**せるは隊長白瀨中尉及船長たるべき野村直吉氏外大西由良(一三)白井滿曹(三八)多田惠一(三八)の三氏なり大西氏は新潟縣岩船郡村上町の人にして十五の時より北海道に渡り三十五年露領漁業加に赴き雪深き内地を跋涉して毛皮の貿易に從事せり其の後三十七年北サガレンに密航に赴き戰爭中日本軍の爲に捕へられ拘禁され又戰後露國官憲の爲に捕縛されたる等のことありて前後五年間具に寒氣に耐ふるの經驗を有せるの人なり而して妻きは(一三)との間に長男芳雄(十)はる(七)き(一)と本年一月生れの女兒あるも今回の白瀨中尉の壯擧を聞き**最愛**の**妻子を捨て**ゝ斷然上京したり氏は毛皮に經驗を有せるより一行の防寒被服を調製する筈なり▲多田惠一氏は岡山縣御津郡江與味の出身にして步兵第四十聯隊附の步兵一等卒として**日露戰爭**に從軍し三十餘回斥候に從ひ**感狀**を下付されたる勇士なるが一人の妹ある外一切係累なければとて白瀨中尉に請ひ遂に一行に加盟せるものなり▲白井滿曹氏は三重縣津市伊豫町白井則胤氏の六男にして明治四十年大阪商船學校を卒業し直に三井物產會社に入り最近迄同社の劔山丸機關士として勤務し居りて大阪朝日新聞社の**ロセッタ丸**巡航の際は恰も同船の**機關士**として一行に多大の便宜を與へたる人なりと云ふ而して船長野村氏は其の執るべき**航路**に就き語りて曰く最初白瀨氏よりは中途シドニーに寄港すべしとの註文ありしも自分の經驗上此の方向に針路を取る時は北緯五度より南緯二十度に亙り東より西に流るゝ潮流に乘せられ頗る危險なれば品川より八丈、小笠原島を經てニュージーランドに赴き夫よりマックマード灣に到る積りにて一日平均八十海里九十日にして灣口に到着する見込なり航海に就き非常に危險なりと思はるゝ人もあるやうなれど唯赤道を通過するまでの心配にて其の後は極めて安全なりと信ずと

殺人教唆事件(三)

▽元羅南日本人會長以下

(深澤檢事論告の續き)然りと雖も本職は決して第一審裁判の認定を不當なりとは思惟せざるのみか被告北野安次郎が同地日本人會長の職を黑川等が再選の條件を附しての辭職勸告に基き引退したるも其の約束は實行せられざるのみか道路工事受負ども黑川に取られ入札當時談合金の相談をも拒絶せられ不快に感じたる事實もあり更に被告辰造外二名が各所に於て遊興したる費用の大部分を支辨し又芳松定次郎が憲兵の審問に對し辰造より北野の親分の爲めの是非加盟し呉れとの依賴を受けたりとの自白に徵し原裁判所が北野の教唆に出でたりと認定したるは寧ろ至當なるべきを斷言する要は此の**認定**が果して**事實上至當**なりや

女振り



中村時章氏夫人 中村ふさ子

時章君は山口縣萩町の產である、明治八年六月生れ本年三十六歲三十四年出の英法科專攻の法學士である京城地方裁判所判事として招聘せられたのだが司法權委任と同時に辭職して辨護士となり旭町二丁目に事務所を置くこととなつた、斯界有數同職者中最も少壯敏腕家の一人である夫人ふさ子は明治十六年六月を以て東京下谷に生れられたのだが家道日に非にして同地數寄屋町の何家から十七の年の秋藝が身をくう粹客の機嫌氣褄を取る身となつたが藝は賣つても操は售るまいと堅く締めたる菁の花の可愛しらしい所に打ち込んで大學卒業の上は乾度女房にするとの證書を入れて手折つて退けた當人が即ち今の時章君である、其卒業と同時に約束は履行せられたのだ、ふさ子さん一時逆境に居られた事とて非常に同情の念に富んで御座る、而して微塵浮いた氣はない、書生に聞いても女中に聞いても奧さんは實に好く出來た方だと云ふ、人との應對振りも淡白な裡に一種の曖昧がある、時章君は有名な藝人で其の藝が又樂人離れがして居るので取つて置くに忍びないと見ねて金を捉むが最後奔馬の勢を以て家を飛出して青樓々上紅燈下の人となり其の蘊蓄を傾倒する癖がある、併し夫人は更らに夫れに對して怨嗟の聲を發しない、而して時章君の此の癖あるは夫人が淑しくして浮いた音色や笑聲が響かないからだ、れ子供彭さんに春子孃。

否や

に就き判官の公明なる裁斷を希望するものなりと各箇條に付き約五十分に渉り縱橫精細に論告したり之に對し安武高橋莊子岡田の四辯護士は交る〱立ちて莊重の辯を揮ひたるが意味は殆んど大同小異にして孰れも憲兵隊警察官が被告等に**自白を强**うるに人權の重んずべきを無視し拷問を用ゐたるは**憲法の保障**を蔑視したる行爲なるのみならず人道の敵なりと絕叫し其の横暴不當を鳴らしたる內辯論の大要を記さん先づ說明せんに北野が會評議員たりし黑川が同人在職當時の…本金募集の依賴を受けたるを以て**北野**は獨斷を以て募集に着手し之れには成功したるも當該官憲の許可を受けずして爲したるは理事廳規則違犯の**行爲**なりとて遂に辭職を勸告さるゝに至りたるものにて決して**德義上の非行**に基きたるものに**非**ず況んや北野は羅南に於ける公共事業に對し出資又は盡力せしものにて一般民間の信用厚く勢力ありしも一派人士間には多少嫉妬を受け居たるを推せざる可らず僭て北野の犯罪即ち教唆罪の成立には第一犯意なき者をして犯意を決せしめたりてふ事實條件を要するは明にして既に犯意ある者に對し同罪の成立せざる事は自明なり假りに北野が米田に對し教唆したるものとするも其際米田には何等の決意なかりしや否は最も深く研究を要する事項なりと(つゞく)

文林堂主拘引

町田

▽關稅に關する詐欺取財

仁川及び京城に大なる店舖を有し社會に多少の信用と位置を有する前日韓貿易會社取締取町田文次郎及び秀兼外一名は一昨八日春川豫審判事の令狀を以て仁川裁判所に拘引せられたり其の**犯罪**顚末に就ては知悉し居れりと雖も今や事豫審中に屬し直に報道すべくもあらざれ共仁川稅關關稅に關する**詐欺取財犯**にして去る三日京城地方裁判所伊藤檢事は南部署森警部立會の上同人に對し家宅搜索を行ひ**證據充分**なる結果拘引せらるゝに至りたるものなり詳細は更らに機を見て報ずべし

惡運盡きた妾の末路

▽ヤーイ態を見ろ

本町九丁目谷川三藏の妾兵庫縣生れ元仁川八坂樓藝妓太郎事奧本みな(三〇)並に宮城縣生れ山路やい(二五)の二名が三露見し檢事局に拘引せられし座俳優に總け入目を關はず役爲しつゝありし事は本月一日妾と俳優と題し報道せし通り路の方は密かに爲し居るかは知らぬも公然改悛の情を見せ掛け居が奧本みなは益々熱中して子迄むより谷川三藏の實兄當時谷の監督者なる國造より銅覗分願出せしより奧本は離れる事り打込んだ揚句て歸國旅費な

早稻田大學得業式

▽卒業生八百五十三名

早稻田大學得業式は五日午後同校に於て擧行、吳清國代理公使、土方伯、村上坪井等の諸博士來會、高田學長の證書授與大隈總長の訓示、得業生總代韓國留學生總代李允燦等の答辭ありて了つて大隈伯邸に於て立食の饗應ありたり今期の得業生は大學部五百十三名、專門部二百九十三名、清國留學生普通部四十七名にして優等得業生は左の如し△縫田榮四郎、奧田要殿(政治經濟科)△藤井政八(法學科)△桂井當之助)河野彌三次(文學科)△加藤寶(商科)△白井安太郎、渡邊代五郎、吳學讓、吳學謹(專門部)

妻を抵當にせよ

北部順化坊昌城洞五十五統十三戶祭基顯(三五)は西部夜珠峴居住の清國人玉星五と二年前より知り合ひとなり居るが本年四月末日白麻二十尺及羅紗四尺を玉星五方より買ひ代金二圓四十錢は後日支拂ふ約束なりしに祭が支拂を怠るに付玉は屢々請求するも應せず爲めに玉は最後の談判として一昨八日午後三時頃督促に行きしに二三日間延引して呉れ其內には衣類なりと入質して支拂ふと云ふより玉は憤慨して余り人を馬鹿にするな猶豫は一時間も出來ぬから貴様の妻を抵當とせよさすれば外に金も貸してやると云ふより祭は氣持ち惡るくし互に爭論となり玉星五は拳を以て祭の頭部面部を撲りたるより祭の口唇を創傷せしめ北部署に告訴せしより目下取調中

預つた金を費ふ

永樂町一丁目に居住する長瀨潔なる者は理事廳雇吉田防より紹介を受け清國奉天省安東縣趙代洞居住祭文玉李台臣と水票橋通り清國人趙坪方に於て漁業に關する契約を締結し長瀨は契約主旨に基き祭文玉李台臣の兩人より旅費として金二百圓を受取り該金の內百圓を一時吉田防に預けたるに吉田は該金全部を遊興費其他に費消したるより其筋に檢擧せられ爾來京城地方裁判所に於て審理中の處一昨八日懲役六ケ月に處せられ執行猶豫三箇年の恩典を與へられたり

女郎と糠と牛皮

仁川本町二丁目に居住せしが今は京城にて共益社を營む貿易商山口直太郎氏方店員中村和吉と云ふは敷島遊廓日進樓の水江及び敷島樓の胡蝶一山の松吉に血の道を上げて通ひたる結果牛皮及米糠の賣却代金三百餘圓を主人に無斷にて費消したる事實發覺し一昨日仁川署に引致せられしも主人の厚き情にて公沙汰とならず只れ拂箱になつたるのみにて事濟

尿の上の惡い男

大和町一丁目洗濯屋原金雁人山形縣人中澤勇作は友人外二名と七日夜大和町一丁目料理屋榮月事柴田せん方に登樓し午後十一時頃二階より放尿せし爲め隣家土木請負業櫻井爲吉方の寢室に居りし家人に掛りしにぞ誰れだと咎めしに暴言を吐きしより大和町派出所へ訴へしに付警官出張取調しに暴言を吐くのみならず亂暴を働くより南部署に引致取調の上拘留五日に處せらる

●上月つねの公判

仁川宮町二丁目の貿町上月つねに對する質物損害賠償事件の第二回辨論は來る十四日仁川裁判所にて開かるゝ筈

●檢黴

仁川敷島遊廓の娼妓五十九名に對し一昨日檢黴を行ひたるに日進の歌子一山鶴松第二朝日の松葉第三朝日の桝龍敷島の寨子は局部洗滌を要し一山のゑくぼは入院を命ぜられたり

●投棄

仁川支那町三丁目菓子商星野與十郎同町清國人西金德方にて販賣せる宮町松谷製の蜜柑水廿七本は沈澱物ありて飲料不適と認められ八日投棄を命ぜらる

●廢業

仁川敷島遊廓吾妻樓の抱娼妓れはんと云へば面相はナップンなれ共藝が達者なのでそれ者間に持て囃されしが八日廢業

●勝室扶斯

大阪府平民當時櫻井町百番戶大工職田中義勝(三七)は七日より勝室扶斯に罹り大韓醫院に入院せりと

●日本基督教會

旭町四丁目同教會にて十日午前九時より日曜學校同十時より石原牧師の禮拜說教「イエスの試」午後八時より橋本金次郎氏の傳道說教

●京城基督教會

日の出町同教會にては十日午前九時より日曜學校同十時より米澤牧師の禮拜說教「碎片の拾集」夜「如何に聖書を讀むべきか」の傳道說教

●メソヂスト教會

旭町二丁目同教會にては十日午前十時より日曜學校聖書研究あり同十時丹羽清次郎氏の禮拜說教「聖書研究の意義」同午後八時山下篤志君の「更生の生涯」なる傳道說教

●壽座の次興行

金馬一座の東京落語は九日限り打揚げて仁川歌舞伎座に乘り込み十日初日開演し其替りと

▲歌舞伎座

明日明後日如雲韻物
七月十日(六日目)
横川勘平伐れ走り一番乘(前二幕)
七月十一日(七日目)
前 大高源吾 笹賣り
後 大石內藏之助 妻子別れ

●自轉車の大競走會

▽十七日に延期す

既報韓國愛輪會主催の龍山藤勝組煉瓦工場跡新設グランドに於ける第二回自轉車大競爭會は十五日擧行の筈のところ準備その他のために愈々來る十七日(日曜)に大々的に擧行せらるべし

して本年春同座に興行し非常に好人氣なりし喜劇廿我廼家一派が滿洲よりの歸途立寄り來る十二日より開演の筈今回は新狂言も多數に加へ居れりと云へは再び大好評を呈するならん

●天候豫報

八日(華氏) 最高溫度 七九、二 最低溫度 七一、二
{自九日午後六時 至十日午後六時}
東北風曇

廣告

京城居留民團告示第二十六號本年四月一日付告示第十三號朝鮮日々新聞ノ次ニ「朝鮮日出新聞」ヲ加フ
明治四十三年七月五日
京城居留民團民長 古城管堂

제452호 1910. 7. 10.